



香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行者：北村 顕吾

〒760-0004
高松市西宝町2丁目6番40号
香川県教育会館602号

TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723

毎月10日発行 定価1部50円
(年間1,000円 送料とも)
会員の購読費は会費の中に含む



香教連は、結成四十六年を迎えた、子供中心の教育を目指し、健全なる批判力をもつ、県内最大の教職員団体です。

令和二年度採用試験 対策部研修会のお知らせ

令和三年度採用試験対策部研修会を、左記の内容で開催を予定しています。令和三年度も香川大学の先生方を講師としてお招きし、一次試験・二次試験対策について講義を行っていただく予定です。詳細につきましては、毎月の新聞に同封する案内資料、または香川県教職員連盟HP等を御覧ください。なお、今後の状況により新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催の中止や変更、人数制限等となる場合がございます。御理解、御容赦の程、よろしくお願い申し上げます。



○第一回 日 時：令和三年四月二十九日(木)
九時三十分～十二時

・場 所：香川県教育会館二階会議室
・内 容：講義・時事通信社模試(心構え等)

○第二回 日 時：令和三年五月十五日(土)
九時三十分～十二時

・場 所：香川県教育会館二階会議室
・内 容：講義・時事通信社模試(教育法規等)

○第三回 日 時：令和三年六月二十六日(土)
九時三十分～十二時

・場 所：香川県教育会館二階会議室
・内 容：講義・演習(集団面接等)

○第四回

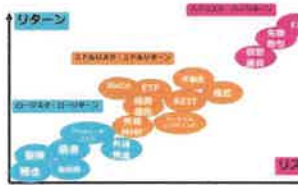
・日 時：令和三年八月十一日(水)
十七時三十分～二十時
・場 所：香川県教育会館二階会議室
・内 容：講義(模擬授業、個人面接等)

(予定ですので、変更になる場合がございます。)

先生のための マネープランニングコラム

ファイナンシャルプランナーからのお便り
「退職金の活用②～資産運用～」

先月に続き、FPラボの徳永が退職金の活用についてお伝えさせていただきます。前回のコラムは、セカンドライフにどれくらい資金が必要かライフプランを作成し、人生の必要資金を見える化しようというお話でした。今回はセカンドライフの生活に余裕を持たせるための方法として「資産運用」という選択肢をご案内します。趣味や旅行など、ゆとりをもってセカンドライフを送るために、退職金を運用して資金を増やせれば、セカンドライフにゆとりが生まれるかもしれません。当面必要な資金は現預金として確保しつつ、当面使う予定のない資金を投資にまわすなど、退職金を運用することをお勧めします。



セカンドライフの資産運用は、できるだけリスクは避けつつ商品には注意が必要です。また、購入手数料が高い投資信託などの金融商品にも要注意です。効果的な運用方法としては、これまでもこのコラムでお伝えしてきた、長期・分散・積立が基本で、長く続けていくことをお勧めします。退職金は、セカンドライフの生活費の基となる大切な資産です。近い将来受け取る予定のある方は、勧められるまま投資をスタートするのではなく、早めに勉強を始めましょう。また、現役世代の方は、自分に合ったやり方を考えるだけ早く選択し、スタートすることが大切です。まずは、自分に合った資産運用を選択するためにも、ぜひ私たちファイナンシャルプランナーを活用ください。セカンドライフを充実させるためのお手伝いをさせていただきます。

FPラボ 徳永 真理子

温故知新

今回は「言う気」「だまされ」ようです。

○「言う気」
集団の中で発言するということは、なかなか勇気のいる行為です。自分を表現する、自分自身を人の目にさらすこと、職員会議や研修会でのグループ討議における発言等、未だに私はとても緊張します。ですので、大勢の前でも、落ちついて自分の考えを積極的に述べられる方を見ると尊敬します。みなさんはどうでしょうか。緊張しないという方もいらっしゃるでしょうが、私のようにとても緊張するという方も、実際には少なからずいらっしゃると思います。子どもたちも同様のことが当てはまるのではないのでしょうか。

○「だまされ」
吉田松陰の伝記「吉田松陰」から、こんな言葉がありました。「人を信じて失敗することがあっても、人を疑って失敗することはないようにしよう」。ある案件で子どもに指導してはじめてみましたが、子どもが嘘をついているような気がしますが、でも確証はありません。そういう時にどうしますか。とりあえず子どもに言葉が確認できればよいのです。その後、明確な事実が確認できれば整理し、的確に指導する方が効果的かもしれません。信頼関係も保つて、時々だまされしてみよう。もちろん真実や原因の追究は必要不可欠です。警察や裁判ならそれが絶対であると思います。しかし、教育は豊かな人間形成が目的です。信じて待つという方が、教育効果が高い場合が少なくないのです。成人してから「あの時は本当にすみません」と謝るために来る例もあるといいますが、別にそれは多少なりとも残ってはおりません。その人の心の中には例えれば、宿題忘れのような場合も同様です。「家でやってはいるけれど、持ってくるのを忘れました」というパターン。基本的に信じて待つと効果的です。やってこない子どもへの口癖は「わかっていた。信じとぞ。」で通すことです。時にはだまされようか。(頭)